

オーストラリア・ 高配当株ファンド (毎月決算型) 【運用報告書(全体版)】

■当ファンドの仕組みは次の通りです。

商品分類	追加型投信／海外／株式
信託期間	2012年6月15日から2022年6月6日まで
運用方針	マザーファンドへの投資を通じて、主としてオーストラリアの取引所に上場している高配当株式等に投資することにより、信託財産の中長期的な成長を目指して運用を行います。
主要投資対象	当ファンドは以下のマザーファンドを主要投資対象とします。 オーストラリア高配当株式マザーファンド オーストラリアの取引所に上場している高配当株式等
当ファンドの運用方法	■マザーファンドへの投資を通じて、主としてオーストラリアの取引所に上場している高配当株式等に投資することにより、信託財産の中長期的な成長を目指します。 ■銘柄選定にあたっては、企業収益の成長性や財務健全性に加え、配当余力や配当政策等を勘案して厳選します。 ■外貨建資産については、原則として対円での為替ヘッジを行いません。
組入制限	当ファンド ■株式への実質投資割合には、制限を設けません。 ■外貨建資産への実質投資割合には、制限を設けません。 オーストラリア高配当株式マザーファンド ■株式への投資割合には、制限を設けません。 ■外貨建資産への投資割合には、制限を設けません。
分配方針	■毎月5日(休業日の場合は翌営業日)に決算を行い、分配を行います。 ■分配対象額は、経費控除後の利子、配当等収益と売買益(評価損益を含みません)等の範囲内とします。 ■分配金額は、委託会社が基準価額水準、市況動向等を勘案して決定します。 ※委託会社の判断により分配を行わない場合もあるため、将来の分配金の支払いおよびその金額について保証するものではありません。

第17作成期 (2020年6月6日から2020年12月7日まで)

第 97 期 / 第 98 期 / 第 99 期
決算日2020年7月6日 決算日2020年8月5日 決算日2020年9月7日

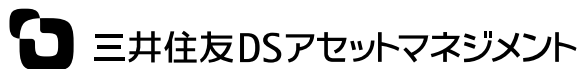
第 100 期 / 第 101 期 / 第 102 期
決算日2020年10月5日 決算日2020年11月5日 決算日2020年12月7日

受益者の皆さまへ

平素は格別のお引立てに預かり、厚くお礼申し上げます。

当ファンドはマザーファンドへの投資を通じて、主としてオーストラリアの取引所に上場している高配当株式等に投資することにより、信託財産の中長期的な成長を目指して運用を行います。当作成期についても、運用方針に沿った運用を行いました。

今後ともご愛顧のほどお願い申し上げます。



三井住友DSアセットマネジメント

〒105-6426 東京都港区虎ノ門1-17-1

<https://www.smd-am.co.jp>

■口座残高など、お取引状況についてのお問い合わせ

お取引のある販売会社へお問い合わせください。

■当運用報告書についてのお問い合わせ

コールセンター 0120-88-2976

受付時間：午前9時～午後5時(土、日、祝・休日を除く)

オーストラリア・高配当株ファンド（毎月決算型）

■ 最近5作成期の運用実績

作成期	決算期	基準価額			株式組入率	投資証券信託比率	純資産総額
		(分配落)	税分配	込金騰落率			
第13 作成期		円	円	%	%	%	百万円
	73期 (2018年7月5日)	7,524	70	△ 0.7	66.4	31.1	7,303
	74期 (2018年8月6日)	7,492	70	0.5	67.2	31.6	7,058
	75期 (2018年9月5日)	7,279	70	△ 1.9	64.8	31.9	6,987
	76期 (2018年10月5日)	7,300	70	1.3	66.8	31.5	6,974
	77期 (2018年11月5日)	6,901	70	△ 4.5	66.1	32.1	6,531
第14 作成期	78期 (2018年12月5日)	6,921	50	1.0	64.8	33.8	6,520
	79期 (2019年1月7日)	6,285	50	△ 8.5	65.4	32.3	5,883
	80期 (2019年2月5日)	6,786	50	8.8	66.5	31.9	6,209
	81期 (2019年3月5日)	7,221	50	7.1	65.6	31.9	6,203
	82期 (2019年4月5日)	7,278	50	1.5	66.0	32.8	6,008
	83期 (2019年5月7日)	6,955	50	△ 3.8	64.2	34.7	5,236
第15 作成期	84期 (2019年6月5日)	6,801	50	△ 1.5	61.1	36.8	4,992
	85期 (2019年7月5日)	7,082	50	4.9	60.6	36.9	5,099
	86期 (2019年8月5日)	6,713	50	△ 4.5	59.8	38.8	4,713
	87期 (2019年9月5日)	6,522	50	△ 2.1	57.3	40.6	4,536
	88期 (2019年10月7日)	6,411	50	△ 0.9	54.8	43.3	4,401
	89期 (2019年11月5日)	6,806	50	6.9	54.5	44.3	4,616
第16 作成期	90期 (2019年12月5日)	6,606	50	△ 2.2	51.1	47.0	4,156
	91期 (2020年1月6日)	6,740	50	2.8	51.1	47.6	4,015
	92期 (2020年2月5日)	6,637	50	△ 0.8	52.5	44.7	3,838
	93期 (2020年3月5日)	5,970	50	△ 9.3	51.0	45.1	3,397
	94期 (2020年4月6日)	4,146	50	△29.7	54.5	40.6	2,355
	95期 (2020年5月7日)	4,469	50	9.0	55.4	40.3	2,540
第17 作成期	96期 (2020年6月5日)	5,574	50	25.8	53.8	43.5	3,187
	97期 (2020年7月6日)	5,441	50	△ 1.5	49.5	47.7	3,124
	98期 (2020年8月5日)	5,472	50	1.5	50.1	47.6	3,120
	99期 (2020年9月7日)	5,545	50	2.2	47.9	49.3	3,122
	100期 (2020年10月5日)	5,243	50	△ 4.5	46.9	50.5	2,908
	101期 (2020年11月5日)	5,307	30	1.8	51.3	47.1	2,877
102期 (2020年12月7日)	6,028	30	14.2	58.3	39.9	3,018	

※基準価額の騰落率は分配金込み。

※当ファンドは親投資信託を組み入れますので、比率は実質比率を記載しています。

※株式組入比率には、新株予約権証券を含みます。

※当ファンドの運用方針に対し適切に比較できる指数がないため、ベンチマークおよび参考指数を記載しておりません。

オーストラリア・高配当株ファンド（毎月決算型）

■ 当作成期中の基準価額と市況等の推移

決算期	年 月 日	基 準 価 額 円	騰 落 率	株 式 組 入 率 %	投 資 信 託 証 券 率 %
			%		
第97期	(期 首) 2020年 6 月 5 日	5,574	—	53.8	43.5
	6 月末	5,268	△ 5.5	50.5	46.1
	(期 末) 2020年 7 月 6 日	5,491	△ 1.5	49.5	47.7
第98期	(期 首) 2020年 7 月 6 日	5,441	—	49.5	47.7
	7 月末	5,485	0.8	49.7	47.1
	(期 末) 2020年 8 月 5 日	5,522	1.5	50.1	47.6
第99期	(期 首) 2020年 8 月 5 日	5,472	—	50.1	47.6
	8 月末	5,643	3.1	48.8	48.2
	(期 末) 2020年 9 月 7 日	5,595	2.2	47.9	49.3
第100期	(期 首) 2020年 9 月 7 日	5,545	—	47.9	49.3
	9 月末	5,404	△ 2.5	46.8	50.6
	(期 末) 2020年10月 5 日	5,293	△ 4.5	46.9	50.5
第101期	(期 首) 2020年10月 5 日	5,243	—	46.9	50.5
	10 月末	5,131	△ 2.1	51.3	46.1
	(期 末) 2020年11月 5 日	5,337	1.8	51.3	47.1
第102期	(期 首) 2020年11月 5 日	5,307	—	51.3	47.1
	11 月末	5,956	12.2	58.1	39.3
	(期 末) 2020年12月 7 日	6,058	14.2	58.3	39.9

※期末基準価額は分配金込み、騰落率は期首比です。

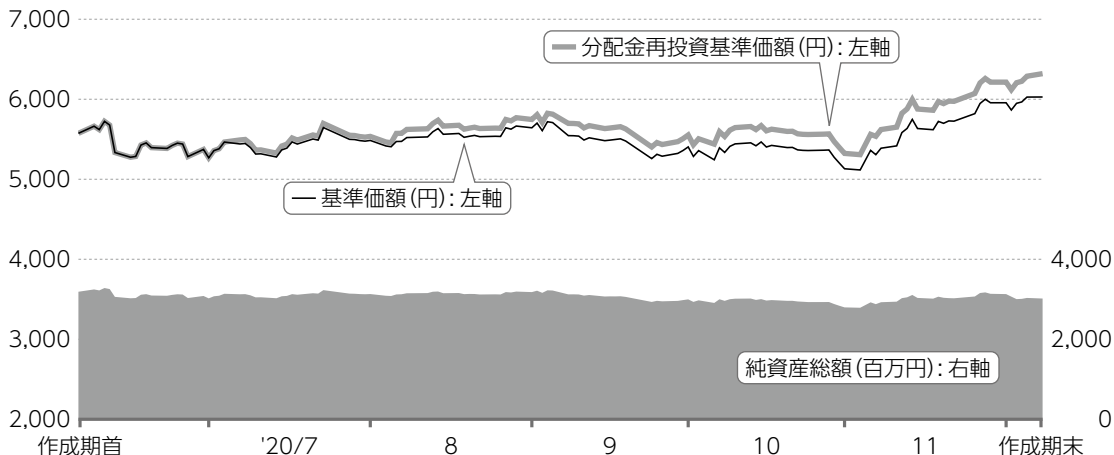
※当ファンドは親投資信託を組み入れますので、比率は実質比率を記載しています。

※株式組入比率には、新株予約権証券を含みます。

1 運用経過

基準価額等の推移について（2020年6月6日から2020年12月7日まで）

基準価額等の推移



※分配金再投資基準価額は、作成期首の値が基準価額と同一となるように指数化しています。

作成期首	5,574円
作成期末	6,288円 (当作成期分配金260円(税引前)込み)
騰落率	+13.4% (分配金再投資ベース)

分配金再投資基準価額について

分配金再投資基準価額は分配金(税引前)を分配時に再投資したと仮定して計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示します。

※分配金を再投資するかどうかについては、受益者の皆さまがご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入価額などによって課税条件も異なります。したがって、受益者の皆さまの損益の状況を示すものではありません。(以下、同じ)

基準価額の主な変動要因（2020年6月6日から2020年12月7日まで）

当ファンドは、マザーファンドへの投資を通じて、主としてオーストラリアの取引所に上場している高配当株式等に投資しました。外貨建資産については、対円での為替ヘッジを行っていません。

上昇要因

- 11月から作成期末にかけて、ワクチンの開発進展期待もあって、オーストラリアを含めて世界的に株式市場が堅調だったこと
- 世界的な経済活動再開の期待が高まったことなどから、作成期を通じてみれば、オーストラリアドル高・円安となったこと

下落要因

- 4月以降の株式市場の上昇もあって利益確定の売り圧力が強まったことや、ビクトリア州の外出規制長期化による景気の下振れ懸念もあって、9月のオーストラリア株式市場が軟調だったこと

組入れファンドの状況

組入れファンド	投資資産	騰落率	作成期末組入比率
オーストラリア高配当株式マザーファンド	外国株式	+14.3%	100.6%

※比率は、純資産総額に対する割合です。

投資環境について（2020年6月6日から2020年12月7日まで）

オーストラリア株式市場は、上昇しました。為替相場では、オーストラリアドル高・円安となりました。

オーストラリア株式市場

当作成期の期初から10月にかけて、オーストラリア株式市場は概ね横ばいの展開でした。新型コロナウイルスの感染拡大を受けて、7月にはビクトリア州が外出規制の強化を発表しました。発表当初は8月までの規制強化の予定でしたが、新規感染者数が減少しないことから9月まで延長され、経済停滞の長期化に対する懸念が高まりました。また、4月以降オーストラリア株式市場が回復していたことから、9月には利益確定の株式売り圧力が強まりました。一方、中国を中心に世界的な経済活動再開の動きが好感されて、鉄鉱石などの商品市況が上昇し、鉱山株は堅調でした。10月に発表された連邦政府予算案(2020年7月～2021年6月)は、低・中所得者向けの所得税減税、若年層の就業支援、企業の投資活性化、インフラ投資の拡大などが盛り込まれており、株式市場に好材料と受け止められました。

11月以降、オーストラリア株式市場は大幅高となりました。南半球は夏を迎えて、メルボルンのあるビクトリア州を中心に新

型コロナウイルスの新規感染者数が減少しました。これを受けて、各州政府による防疫措置が見直されており、特に州を跨いだ移動の制限が緩和されたことが好感されました。また、世界的にワクチンの開発進展期待が高まり、オーストラリアを含む世界の株式市場は堅調でした。

当作成期の市場の動きをS & P / A S X 200インデックスで見ると、作成期首に比べて10.7%上昇しました。

為替市場

当作成期の為替市場については、米国の主要州や中国の北京などにおける新型コロナウイルスの感染拡大のニュースを受けて、作成期初から6月中旬にかけてオーストラリアドルは円に対して下落しました。その後は、中国の良好な経済指標を好感して鉄鉱石などの商品市況が上昇したこともあって、オーストラリアドルは反発に転じ、8月にかけてオーストラリアドル高・円安となりました。9月から10月にかけては、世界的に株式市場が調整したことや、11月の米国大統領選を前に金融市場においてリス

クを回避する動きがみられたことなどから、オーストラリアドルは軟調でした。米国大統領選という主要イベントを通過して、世界的に株式市場が急上昇したこともあって、11月から作成期末にかけてオーストラリア

ドル高・円安となりました。当作成期のオーストラリアドル・円は、作成期首75円66銭から作成期末は77円33銭となり、1円67銭のオーストラリアドル高・円安となりました。

ポートフォリオについて（2020年6月6日から2020年12月7日まで）

当ファンド

「オーストラリア高配当株式マザーファンド」を通じた運用を行いました。作成期を通して「オーストラリア高配当株式マザーファンド」の組入れを高位に保ちました。

オーストラリア高配当株式マザーファンド

●株式組入比率

株式組入比率（投資信託証券を含む）は、作成期を通じて高位を維持しました。

●業種配分

業種配分については、REIT（不動産投資信託）など、業績の安定度が相対的に高いと判断される業種を多く組み入れましたが、不動産価格の上昇により株価が上昇したことから一部の銘柄を売却しました。また、鉄鉱石や原油など商品市況の上昇を受けて株価が堅調だったエネルギーや素材（鉱山）の組入比率を引き下げました。一方、オー

ストラリア国内の経済活動が回復していることもあって、恩恵が期待される銀行など金融株の組入比率を引き上げました。

●個別銘柄

銘柄選択については、オーストラリア国内の景気の先行き不透明感を受けて、大手銀行の「オーストラリア＆ニュージーランド・バンキング・グループ」の株式を一旦売却しました。その後、ビクトリア州の外出規制緩和などもあって業績および貸出資産の改善が期待されることから、同銘柄を購入しました。また、オーストラリア株式市場の平均を上回る配当利回り水準に加えて、再生エネルギー関連など事業規模の拡大が期待されることから、「スパーク・インフラストラクチャー・グループ」を新規に組み入れました。

●ポートフォリオの特性

ファンド全体の予想配当利回りは、概ね4%台から5%台の水準を維持しました。

オーストラリア・高配当株ファンド（毎月決算型）

ベンチマークとの差異について（2020年6月6日から2020年12月7日まで）

ベンチマークおよび参考指数を設けていませんので、この項目に記載する事項はありません。

分配金について（2020年6月6日から2020年12月7日まで）

当作成期の1万口当たりの分配金(税引前)は、基準価額水準等を勘案し、第97期から第100期をそれぞれ50円といたしました。第101期、第102期は基準価額が下落傾向で推移したことや市況動向等を勘案した結果、今後も継続的な分配を行うことを目指し、それぞれ30円といたしました。

なお、留保益につきましては、運用の基本方針に基づき運用いたします。

(単位：円、1万口当たり、税引前)

項目	第97期	第98期	第99期	第100期	第101期	第102期
当期分配金	50	50	50	50	30	30
(対基準価額比率)	(0.911%)	(0.905%)	(0.894%)	(0.945%)	(0.562%)	(0.495%)
当期の収益	30	—	50	12	1	14
当期の収益以外	20	50	—	37	28	16
翌期繰越分配対象額	698	648	653	616	588	573

※単位未満を切り捨てているため、「当期の収益」と「当期の収益以外」の合計が「当期分配金」と一致しない場合があります。

※「対基準価額比率」は、「当期分配金」(税引前)の期末基準価額(分配金(税引前)込み)に対する比率で、当ファンドの収益率とは異なります。

2 今後の運用方針

当ファンド

「オーストラリア高配当株式マザーファンド」を通じた運用を継続します。「オーストラリア高配当株式マザーファンド」の組入比率は高位に保つ予定です。

オーストラリア高配当株式マザーファンド

追加の財政・金融政策の効果などもあって、2021年以降の本格的な企業活動の再開期待を背景に業績見通しも改善がみられることから、オーストラリア株式市場は堅調に推移する見通しであり、組入比率は高位を維持します。個別銘柄選択については、安定した事業からのキャッシュフローを見極めるとともに、増配や自社株買いなどの株主還元に注力する銘柄を選別していく方針です。

3 お知らせ

約款変更について

該当事項はございません。

オーストラリア・高配当株ファンド（毎月決算型）

■ 1万口当たりの費用明細（2020年6月6日から2020年12月7日まで）

項 目	金 額	比 率	項 目 の 概 要
(a) 信 託 報 酬 (投 信 会 社) (販 売 会 社) (受 託 会 社)	44円 (21) (21) (2)	0.808% (0.390) (0.390) (0.028)	信託報酬＝期中の平均基準価額×信託報酬率×（経過日数／年日数） 投信会社：ファンド運用の指図等の対価 販売会社：交付運用報告書等各種資料の送付、口座内でのファンドの管理、購入後の情報提供等の対価 受託会社：ファンド財産の保管および管理、投信会社からの指図の実行等の対価
(b) 売 買 委 託 手 数 料 (株 式) (投 資 信 託 証 券)	5 (3) (2)	0.093 (0.058) (0.035)	売買委託手数料＝期中の売買委託手数料／期中の平均受益権口数 売買委託手数料：有価証券等の売買の際、売買仲介人に支払う手数料
(c) そ の 他 費 用 (保 管 費 用) (監 査 費 用) (そ の 他)	1 (1) (0) (0)	0.023 (0.015) (0.003) (0.005)	その他費用＝期中のその他費用／期中の平均受益権口数 保管費用：海外における保管銀行等に支払う有価証券等の保管および資金の送付金・資産の移転等に要する費用 監査費用：監査法人に支払うファンドの監査費用 そ の 他：信託事務の処理等に要するその他費用
合 計	50	0.924	

期中の平均基準価額は5,481円です。

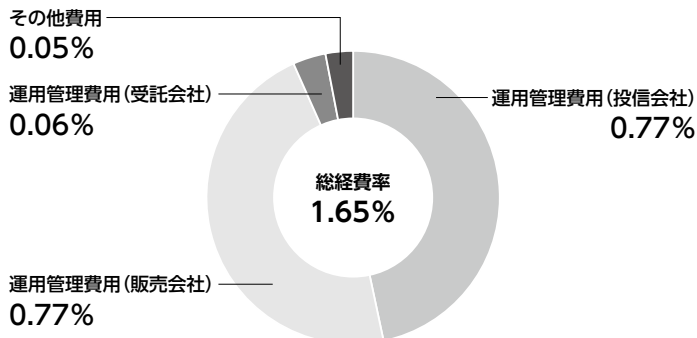
※期中の費用（消費税のかかるものは消費税を含む）は、追加・解約によって受益権口数に変動があるため、簡便法により算出しています。

※比率欄は1万口当たりのそれぞれの費用金額を期中の平均基準価額で除して100を乗じたものです。

※各項目毎に円未満は四捨五入しています。

※売買委託手数料およびその他費用は、当ファンドが組み入れているマザーファンドが支払った金額のうち、当ファンドに対応するものを含まず。

参考情報 総経費率（年率換算）



※各費用は、前掲「1万口当たりの費用明細」において用いた簡便法により算出したもので、原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を含みません。

※各比率は、年率換算した値（小数点以下第2位未満を四捨五入）です。

※上記の前提条件で算出しているため、「1万口当たりの費用明細」の各比率とは、値が異なる場合があります。なお、これらの値はあくまでも参考であり、実際に発生した費用の比率とは異なります。

当作成期中の運用・管理にかかった費用の総額（原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を除く。）を期中の平均受益権口数に期中の平均基準価額（1口当たり）を乗じた数で除した総経費率（年率換算）は1.65%です。

オーストラリア・高配当株ファンド（毎月決算型）

■ 当作成期中の売買及び取引の状況（2020年6月6日から2020年12月7日まで）

親投資信託受益証券の設定、解約状況

	当 作 成 期			
	設 定		解 約	
	口 数	金 額	口 数	金 額
オーストラリア高配当株式マザーファンド	千口 33,739	千円 69,942	千口 311,015	千円 654,721

※単位未満は切捨て。ただし、単位未満の場合は小数で記載。

■ 親投資信託の株式売買金額の平均組入株式時価総額に対する割合

（2020年6月6日から2020年12月7日まで）

項 目	当 作 成 期
	オーストラリア高配当株式マザーファンド
(a) 作成期中の株式売買金額	1,503,915千円
(b) 作成期中の平均組入株式時価総額	2,128,510千円
(c) 売 買 高 比 率(a)／(b)	0.70

※単位未満は切捨て。

※(b)は各月末現在の組入株式時価総額の平均。

※外貨建資産については、(a)は各月末（ただし、決算日の属する月については決算日）の日本の対顧客電信売買相場の仲値で換算した邦貨金額の合計、(b)は各月末の同仲値で換算した邦貨金額合計の平均です。

■ 利害関係人との取引状況等（2020年6月6日から2020年12月7日まで）

当作成期中における利害関係人との取引等はありません。

※利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人です。

■ 第一種金融商品取引業、第二種金融商品取引業又は商品取引受託業務を兼業している委託会社の自己取引状況

（2020年6月6日から2020年12月7日まで）

該当事項はございません。また委託会社に売買委託手数料は支払われておりません。

■ 組入れ資産の明細（2020年12月7日現在）

親投資信託残高

種 類	作 成 期 首		作 成 期 末	
	口 数	評 価 額	口 数	評 価 額
オーストラリア高配当株式マザーファンド	千口 1,588,717	千円 3,037,167	千口 1,311,441	千円 3,037,167

※オーストラリア高配当株式マザーファンドの作成期末の受益権総口数は1,874,926千口です。

※単位未満は切捨て。

オーストラリア・高配当株ファンド（毎月決算型）

■ 投資信託財産の構成

（2020年12月7日現在）

項 目	作 成 期 末	
	評 価 額	比 率
オーストラリア高配当株式マザーファンド	千円 3,037,167	% 99.2
コ ー ル ・ ロ ー ン 等 、 そ の 他	25,262	0.8
投 資 信 託 財 産 総 額	3,062,429	100.0

※単位未満は切捨て。ただし、単位未満の場合は小数で記載。

※オーストラリア高配当株式マザーファンドにおいて、作成期末における外貨建資産（4,292,117千円）の投資信託財産総額（4,365,185千円）に対する比率は98.3%です。

※外貨建資産は、作成期末の時価を日本の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。なお、作成期末における邦貨換算レートは、1オーストラリアドル=77.33円です。

■ 資産、負債、元本及び基準価額の状況

（2020年7月6日）（2020年8月5日）（2020年9月7日）（2020年10月5日）（2020年11月5日）（2020年12月7日）

項 目	第 97 期 末	第 98 期 末	第 99 期 末	第 100 期 末	第 101 期 末	第 102 期 末
(A) 資 産	3,157,743,477円	3,154,523,310円	3,160,835,383円	2,942,993,182円	2,916,617,447円	3,062,429,944円
コール・ローン等	315,371	1,635,128	1,702,980	1,417,698	2,552,027	2,194,218
オーストラリア高配当株式マザーファンド(評価額)	3,157,428,106	3,152,671,098	3,154,527,022	2,939,420,955	2,897,600,275	3,037,167,101
未 収 入 金	-	217,084	4,605,381	2,154,529	16,465,145	23,068,625
(B) 負 債	32,961,412	34,171,811	38,730,833	34,728,151	38,977,675	44,256,590
未払収益分配金	28,716,973	28,513,531	28,150,428	27,737,312	16,266,432	15,020,970
未払解約金	8,637	1,545,611	6,001,914	3,265,869	18,723,184	24,968,958
未払信託報酬	4,218,299	4,095,678	4,559,611	3,709,579	3,971,620	4,249,088
未払利息	-	4	-	3	7	1
その他未払費用	17,503	16,987	18,880	15,388	16,432	17,573
(C) 純資産総額(A-B)	3,124,782,065	3,120,351,499	3,122,104,550	2,908,265,031	2,877,639,772	3,018,173,354
元 本	5,743,394,602	5,702,706,294	5,630,085,659	5,547,462,485	5,422,144,088	5,006,990,130
次期繰越損益金	△2,618,612,537	△2,582,354,795	△2,507,981,109	△2,639,197,454	△2,544,504,316	△1,988,816,776
(D) 受 益 権 総 口 数	5,743,394,602口	5,702,706,294口	5,630,085,659口	5,547,462,485口	5,422,144,088口	5,006,990,130口
1万口当たり基準価額(C/D)	5,441円	5,472円	5,545円	5,243円	5,307円	6,028円

※当作成期における作成期首元本額5,718,935,276円、作成期中追加設定元本額261,344,946円、作成期中一部解約元本額973,290,092円です。
 ※上記表中の次期繰越損益金がマイナス表示の場合は、当該金額が投資信託財産の計算に関する規則第55条の6第10号に規定する額（元本の欠損）となります。

※上記表中の受益権総口数および1万口当たり基準価額が、投資信託財産の計算に関する規則第55条の6第7号および第11号に規定する受益権の総数および計算口数当たりの純資産の額となります。

オーストラリア・高配当株ファンド（毎月決算型）

■ 損益の状況

〔自2020年6月6日〕
〔至2020年7月6日〕
〔自2020年7月7日〕
〔至2020年8月5日〕
〔自2020年8月6日〕
〔至2020年9月7日〕
〔自2020年9月8日〕
〔至2020年10月5日〕
〔自2020年10月6日〕
〔至2020年11月5日〕
〔自2020年11月6日〕
〔至2020年12月7日〕

項 目	第 97 期	第 98 期	第 99 期	第 100 期	第 101 期	第 102 期
(A) 配 当 等 収 益	△ 71円	△ 80円	△ 101円	△ 81円	△ 94円	△ 88円
支 払 利 息	△ 71	△ 80	△ 101	△ 81	△ 94	△ 88
(B) 有 価 証 券 売 買 損 益	△ 43,331,658	50,286,245	73,898,442	△ 136,380,438	55,067,043	377,716,966
売 買 益	431,882	50,702,257	74,950,432	1,321,552	57,301,691	401,048,275
売 買 損	△ 43,763,540	△ 416,012	△ 1,051,990	△ 137,701,990	△ 1,234,648	△ 23,331,309
(C) 信 託 報 酬 等	△ 4,235,798	△ 4,112,663	△ 4,578,491	△ 3,724,955	△ 3,988,052	△ 4,266,661
(D) 当 期 損 益 金 (A + B + C)	△ 47,567,527	46,173,502	69,319,850	△ 140,105,474	51,078,897	373,450,217
(E) 前 期 繰 越 損 益 金	△ 905,538,083	△ 956,901,793	△ 893,420,387	△ 834,402,686	△ 954,952,439	△ 826,597,552
(F) 追 加 信 託 差 損 益 金	△ 1,636,789,954	△ 1,643,112,973	△ 1,655,730,144	△ 1,636,951,982	△ 1,624,364,342	△ 1,520,648,471
（配当等相当額）	(411,936,033)	(397,770,767)	(364,557,636)	(359,328,385)	(334,454,093)	(294,833,731)
（売買損益相当額）	(△ 2,048,725,987)	(△ 2,040,883,740)	(△ 2,020,287,780)	(△ 1,996,280,367)	(△ 1,958,818,435)	(△ 1,815,482,202)
(G) 計 (D + E + F)	△ 2,589,895,564	△ 2,553,841,264	△ 2,479,830,681	△ 2,611,460,142	△ 2,528,237,884	△ 1,973,795,806
(H) 収 益 分 配 金	△ 28,716,973	△ 28,513,531	△ 28,150,428	△ 27,737,312	△ 16,266,432	△ 15,020,970
次 期 繰 越 損 益 金 (G + H)	△ 2,618,612,537	△ 2,582,354,795	△ 2,507,981,109	△ 2,639,197,454	△ 2,544,504,316	△ 1,988,816,776
追 加 信 託 差 損 益 金	△ 1,648,276,744	△ 1,671,626,504	△ 1,655,730,144	△ 1,654,149,116	△ 1,639,546,346	△ 1,528,659,655
（配当等相当額）	(400,606,438)	(369,257,213)	(364,658,761)	(342,183,448)	(319,279,747)	(286,887,558)
（売買損益相当額）	(△ 2,048,883,182)	(△ 2,040,883,717)	(△ 2,020,388,905)	(△ 1,996,332,564)	(△ 1,958,826,093)	(△ 1,815,547,213)
分 配 準 備 積 立 金	343,398	405,305	3,407,610	97,180	76,569	451,993
繰 越 損 益 金	△ 970,679,191	△ 911,133,596	△ 855,658,575	△ 985,145,518	△ 905,034,539	△ 460,609,114

※有価証券売買損益は各期末の評価換えによるものを含みます。

※信託報酬等には、信託報酬に対する消費税等相当額を含めて表示しています。

※追加信託差損益金とあるのは、信託の追加設定の際、追加設定をした価額から元本を差し引いた差額分をいいます。

※分配金の計算過程は以下の通りです。

	第 97 期	第 98 期	第 99 期	第 100 期	第 101 期	第 102 期
(a) 費用控除後の配当等収益	17,441,011円	－円	31,147,776円	7,130,397円	1,062,019円	7,391,357円
(b) 費用控除後・繰越欠損金補填後の有価証券売買等損益	－	－	－	－	－	－
(c) 収益調整金	412,093,228	397,770,744	364,658,761	359,380,582	334,461,751	294,898,742
(d) 分配準備積立金	132,570	405,305	410,262	3,506,961	98,978	70,422
(e) 分配可能額(a + b + c + d)	429,666,809	398,176,049	396,216,799	370,017,940	335,622,748	302,360,521
1万口当たり分配可能額	748	698	703	666	618	603
(f) 分配金額	28,716,973	28,513,531	28,150,428	27,737,312	16,266,432	15,020,970
1万口当たり分配金額(税引前)	50	50	50	50	30	30

■ 分配金のお知らせ

1万口当たり分配金（税引前）	第97期	第98期	第99期	第100期	第101期	第102期
	50円	50円	50円	50円	50円	30円

※分配金は、分配後の基準価額が個別元本と同額または上回る場合は全額「普通分配金」となり課税されます。分配後の基準価額が個別元本を下回る場合は下回る部分が「元本戻戻金（特別分配金）」となり非課税、残りの部分が「普通分配金」となります。

上記のほか、投資信託財産の計算に関する規則第58条第1項各号に該当する事項はありません。

オーストラリア高配当株式マザーファンド

第17期（2020年6月6日から2020年12月7日まで）

信託期間	無期限（設定日：2012年6月15日）
運用方針	<ul style="list-style-type: none"> 主としてオーストラリアの取引所に上場している高配当株式等に投資することにより、信託財産の中長期的な成長を目指します。 外貨建資産については、原則として対円での為替ヘッジを行いません。

■ 最近5期の運用実績

決 算 期	基 準	価 額		株 式 組 入 率	投 資 信 託 証 券 率	純 資 産 額
		騰 落	中 率			
13期（2018年12月5日）	円		%	%	%	百万円
	21,298	△ 3.6		64.3	33.6	7,718
14期（2019年6月5日）	22,023	3.4		60.6	36.5	6,141
15期（2019年12月5日）	22,544	2.4		50.7	46.6	5,159
16期（2020年6月5日）	20,266	△10.1		53.3	43.0	4,415
17期（2020年12月7日）	23,159	14.3		57.9	39.6	4,342

※株式組入比率には、新株予約権証券を含みます。

※当ファンドの運用方針に対し適切に比較できる指数がないため、ベンチマークおよび参考指数を記載しておりません。

■ 当期中の基準価額と市況等の推移

年 月 日	基 準	価 額		株 式 組 入 率	投 資 信 託 証 券 率
		騰 落	率		
(期 首) 2020年6月5日	円		%	%	%
	20,266	—		53.3	43.0
6月末	19,175	△ 5.4		50.5	46.1
7月末	20,172	△ 0.5		49.6	47.1
8月末	20,973	3.5		48.8	48.2
9月末	20,293	0.1		46.7	50.5
10月末	19,476	△ 3.9		51.3	46.1
11月末	22,764	12.3		58.0	39.3
(期 末) 2020年12月7日	23,159	14.3		57.9	39.6

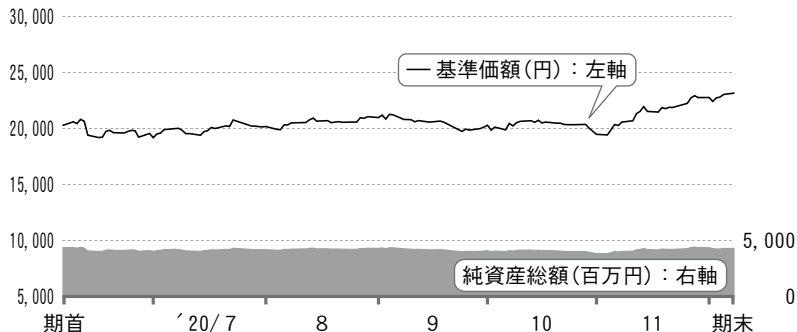
※騰落率は期首比です。

※株式組入比率には、新株予約権証券を含みます。

1 運用経過

▶ 基準価額等の推移について（2020年6月6日から2020年12月7日まで）

基準価額等の推移



期首	20,266円
期末	23,159円
騰落率	+14.3%

▶ 基準価額の主な変動要因（2020年6月6日から2020年12月7日まで）

当ファンドは、主としてオーストラリアの取引所に上場している高配当株式等に投資しました。外貨建資産については、対円での為替ヘッジを行っていません。

上昇要因	<ul style="list-style-type: none"> ・11月から期末にかけて、ワクチンの開発進展期待もあって、オーストラリアを含めて世界的に株式市場が堅調だったこと ・世界的な経済活動再開の期待が高まったことなどから、期を通じてみれば、オーストラリアドル高・円安となったこと
下落要因	<ul style="list-style-type: none"> ・4月以降の株式市場の上昇もあって利益確定の売り圧力が強まったことや、ビクトリア州の外出規制長期化による景気の下振れ懸念もあって、9月のオーストラリア株式市場が軟調だったこと

▶ 投資環境について（2020年6月6日から2020年12月7日まで）

オーストラリア株式市場は、上昇しました。為替相場では、オーストラリアドル高・円安となりました。

オーストラリア株式市場

当期の期初から10月にかけて、オーストラリア株式市場は概ね横ばいの展開でした。新型コロナ

オーストラリア高配当株式マザーファンド

ナウウイルスの感染拡大を受けて、7月にはビクトリア州が外出規制の強化を発表しました。発表当初は8月までの規制強化の予定でしたが、新規感染者数が減少しないことから9月まで延長され、経済停滞の長期化に対する懸念が高まりました。また、4月以降オーストラリア株式市場が回復していたことから、9月には利益確定の株式売り圧力が強まりました。一方、中国を中心に世界的な経済活動再開の動きが好感されて、鉄鉱石などの商品市況が上昇し、鉱山株は堅調でした。10月に発表された連邦政府予算案（2020年7月～2021年6月）は、低・中所得者向けの所得税減税、若年層の就業支援、企業の投資活性化、インフラ投資の拡大などが盛り込まれており、株式市場に好材料と受け止められました。

11月以降、オーストラリア株式市場は大幅高となりました。南半球は夏を迎えて、メルボルンのあるビクトリア州を中心に新型コロナウイルスの新規感染者数が減少しました。これを受けて、各州政府による防疫措置が見直されており、特に州を跨いだ移動の制限が緩和されたことが好感されました。また、世界的にワクチンの開発進展期待が高まり、オーストラリアを含む世界の株式市場は堅調でした。

当期の市場の動きをS & P / A S X 200インデックスで見ると、期首に比べて10.7%上昇しました。

為替市場

当期の為替市場については、米国の主要州や中国の北京などにおける新型コロナウイルスの感染拡大のニュースを受けて、期初から6月中旬にかけてオーストラリアドルは円に対して下落しました。その後は、中国の良好な経済指標を好感して鉄鉱石などの商品市況が上昇したこともあって、オーストラリアドルは反発に転じ、8月にかけてオーストラリアドル高・円安となりました。9月から10月にかけては、世界的に株式市場が調整したことや、11月の米国大統領選を前に金融市場においてリスクを回避する動きがみられたことなどから、オーストラリアドルは軟調でした。米国大統領選という主要イベントを通過して、世界的に株式市場が急上昇したこともあって、11月から期末にかけてオーストラリアドル高・円安となりました。当期のオーストラリアドル・円は、期首75円66銭から期末は77円33銭となり、1円67銭のオーストラリアドル高・円安となりました。

▶ ポートフォリオについて（2020年6月6日から2020年12月7日まで）

株式組入比率

株式組入比率（投資信託証券を含む）は、期を通じて高位を維持しました。

業種配分

業種配分については、REIT（不動産投資信託）など、業績の安定度が相対的に高いと判断される業種を多く組み入れましたが、不動産価格の上昇により株価が上昇したことから一部の銘柄を売却しました。また、鉄鉱石や原油など商品市況の上昇を受けて株価が堅調だったエネルギーや素材（鉱山）の組入比率を引き下げました。一方、オーストラリア国内の経済活動が回復していることもあって、恩恵が期待される銀行など金融株の組入比率を引き上げました。

個別銘柄

銘柄選択については、オーストラリア国内の景気の先行き不透明感を受けて、大手銀行の「オーストラリア&ニュージーランド・バンキング・グループ」の株式を一旦売却しました。その後、ビクトリア州の外出規制緩和などもあって業績および貸出資産の改善が期待されることから、同銘柄を購入しました。また、オーストラリア株式市場の平均を上回る配当利回り水準に加えて、再生エネルギー関連など事業規模の拡大が期待されることから、「スパーク・インフラストラクチャー・グループ」を新規に組み入れました。

ポートフォリオの特性

ファンド全体の予想配当利回りは、概ね4%台から5%台の水準を維持しました。

▶ベンチマークとの差異について（2020年6月6日から2020年12月7日まで）

ベンチマークおよび参考指数を設けていませんので、この項目に記載する事項はありません。

2 今後の運用方針

追加の財政・金融政策の効果などもあって、2021年以降の本格的な企業活動の再開期待を背景に業績見通しも改善がみられることから、オーストラリア株式市場は堅調に推移する見通しであり、組入比率は高位を維持します。個別銘柄選択については、安定した事業からのキャッシュフローを見極めるとともに、増配や自社株買いなどの株主還元に向けた銘柄を選別していく方針です。

■ 1万口当たりの費用明細（2020年6月6日から2020年12月7日まで）

項目	金額	比率	項目の概要
(a) 売買委託手数料 (株式) (投資信託証券)	19円 (12) (7)	0.093% (0.058) (0.035)	売買委託手数料=期中の売買委託手数料/期中の平均受益権口数 売買委託手数料:有価証券等の売買の際、売買仲介人に支払う手数料
(b) その他費用 (保管費用) (その他)	4 (3) (1)	0.020 (0.015) (0.005)	その他費用=期中のその他費用/期中の平均受益権口数 保管費用:海外における保管銀行等に支払う有価証券等の保管および資金の送付・資産の移転等に要する費用 その他:信託事務の処理等に要するその他費用
合計	23	0.113	

期中の平均基準価額は20,475円です。

※期中の費用（消費税のかかるものは消費税を含む）は、追加・解約によって受益権口数に変動があるため、簡便法により算出しています。
※比率欄は1万口当たりのそれぞれの費用金額を期中の平均基準価額で除して100を乗じたものです。

※各項目毎に円未満は四捨五入しています。

オーストラリア高配当株式マザーファンド

■ 当期中の売買及び取引の状況 (2020年6月6日から2020年12月7日まで)

(1) 株 式

		買 付		売 付	
		株 数	金 額	株 数	金 額
外国	オーストラリア	百株	千オーストラリアドル	百株	千オーストラリアドル
		11,500 (△ 618)	9,222 (△ 49)	8,897	10,763

※金額は受渡し代金。

※単位未満は切捨て。ただし、単位未満の場合は小数で記載。

※()内は株式分割、予約権行使、合併等による増減分で、上段の数字には含まれておりません。

(2) 投資信託証券

			買 付		売 付	
			口 数	買 付 額	口 数	売 付 額
外国	オーストラリア	TRANSURBAN GROUP	—	—	148,122	2,110
		APA GROUP	40,000	450	—	—
		STOCKLAND	—	—	350,000	1,571
		SPARK INFRASTRUCTURE GROUP	1,100,000 (—)	2,379 (△ 38)	—	—
		SYDNEY AIRPORT	—	—	250,000	1,693
		SHOPPING CENTRES AUSTRALASIA PROPERTY GR	—	—	200,000	447
		CHARTER HALL LONG WALE REIT	200,000	913	250,000	1,223
		CHARTER HALL SOCIAL INFRASTRUCTURE REIT	200,000	483	150,000	450
		SCENTRE GROUP	—	—	491,570	966
		AVENTUS GROUP	—	—	200,000	476
合 計	1,540,000 (—)	4,226 (△ 38)	2,039,692	8,939		

※金額は受渡し代金。

※単位未満は切捨て。ただし、単位未満の場合は小数で記載。

※()内は分割・償還による増減分で、上段の数字には含まれておりません。

※銘柄コードの変更等、管理上の都合により同一銘柄であっても別銘柄として記載されている場合があります。

■ 株式売買金額の平均組入株式時価総額に対する割合

(2020年6月6日から2020年12月7日まで)

項 目	当 期
(a) 期中の株式売買金額	1,504,390千円
(b) 期中の平均組入株式時価総額	2,128,510千円
(c) 売買高比率(a)/(b)	0.70

※単位未満は切捨て。

※(b)は各月末現在の組入株式時価総額の平均。

※外貨建資産については、(a)は各月末(ただし、決算日の属する月については決算日)の日本の対顧客電信売買相場の仲値で換算した邦貨金額の合計、(b)は各月末の同仲値で換算した邦貨金額合計の平均です。

オーストラリア高配当株式マザーファンド

■ 利害関係人との取引状況等 (2020年6月6日から2020年12月7日まで)

当期中における利害関係人との取引等はありません。

※利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人です。

■ 第一種金融商品取引業、第二種金融商品取引業又は商品取引受託業務を兼業している委託会社の自己取引状況 (2020年6月6日から2020年12月7日まで)

該当事項はございません。また委託会社に売買委託手数料は支払われておりません。

■ 組入れ資産の明細 (2020年12月7日現在)

(1) 外国株式

銘柄	期首(前期末)		期 末		業 種 等
	株 数	株 数	評 価 額	評 価 額	
			外貨建金額	邦貨換算金額	
(オーストラリア)	百株	百株	千オーストラリアドル	千円	
AUST AND NZ BANKING GROUP LT	700	1,600	3,728	288,286	銀行
AMCOR PLC-CDI	—	700	1,073	83,036	素材
WESTPAC BANKING CORPORATION	400	300	608	47,024	銀行
FORTESCUE METALS GROUP LIMITED	2,400	1,400	2,885	223,127	素材
TELSTRA CORPORATION LIMITED	—	7,000	2,135	165,099	電気通信サービス
BHP GROUP LTD	700	600	2,490	192,551	素材
ORIGIN ENERGY LIMITED	4,000	2,500	1,305	100,915	エネルギー
COMMONWEALTH BANK OF AUSTRAL	600	600	4,810	372,019	銀行
RIO TINTO LIMITED	350	310	3,509	271,366	素材
INSURANCE AUSTRALIA GROUP LT	535	—	—	—	保険
SUNCORP GROUP LTD	2,039	1,939	1,970	152,349	保険
NATIONAL AUSTRALIA BANK LTD	314	314	727	56,234	銀行
JB HI-FI LTD	—	200	900	69,597	小売
QBE INSURANCE GROUP LIMITED	700	—	—	—	保険
TABCORP HOLDINGS LIMITED	2,000	—	—	—	消費者サービス
ALUMINA LTD	16,000	16,000	3,040	235,083	素材
WOODSIDE PETROLEUM LTD	800	—	—	—	エネルギー
MACQUARIE GROUP LTD	240	100	1,418	109,669	各種金融
AURIZON HOLDINGS LTD	800	1,600	688	53,203	運輸
ORORA LTD	4,000	3,200	860	66,565	素材
COLES GROUP LIMITED	—	200	359	27,807	食品・生活必需品小売り
合 計	株 数	株 数	金 額	金 額	
	36,578	38,563	32,509	2,513,938	
	銘 柄 数	銘 柄 数	<比 率>	<比 率>	
	17	17	—	<57.9%>	

※邦貨換算金額は、期末の時価を日本の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。

※<>内は、純資産総額に対する各国別株式評価額の比率。

※単位未満は切捨て。ただし、単位未満の場合は小数で記載。

※—印は組入れなし。

※銘柄コードの変更等、管理上の都合により同一銘柄であっても別銘柄として記載されている場合があります。

オーストラリア高配当株式マザーファンド

(2) 外国投資信託証券

銘	柄	期首(前期末)		期		末
		口	数	評 価 額		組 入 比 率
				外 貨 建 金 額	邦 貨 換 算 金 額	
(オーストラリア)		口	口	千オーストラリアドル	千円	%
TRANSURBAN GROUP		148,122	—	—	—	—
CHARTER HALL RETAIL REIT		160,000	160,000	606	46,892	1.1
APA GROUP		180,000	220,000	2,239	173,188	4.0
ALE PROPERTY GROUP		290,000	290,000	1,319	102,036	2.3
STOCKLAND		850,000	500,000	2,265	175,152	4.0
DEXUS		80,000	80,000	779	60,255	1.4
SPARK INFRASTRUCTURE GROUP		—	1,100,000	2,299	177,781	4.1
GROWTHPOINT PROPERTIES AUS		687,418	687,418	2,488	192,432	4.4
SYDNEY AIRPORT		250,000	—	—	—	—
SHOPPING CENTRES AUSTRALASIA PROPERTY GR		200,000	—	—	—	—
CHARTER HALL LONG WALE REIT		650,000	600,000	2,922	225,958	5.2
NATIONAL STORAGE REIT		900,000	900,000	1,719	132,930	3.1
CHARTER HALL SOCIAL INFRASTRUCTURE REIT		820,000	870,000	2,705	209,231	4.8
RURAL FUNDS GROUP		1,166,665	1,166,665	2,916	225,545	5.2
SCENTRE GROUP		491,570	—	—	—	—
AVENTUS GROUP		200,000	—	—	—	—
合 計	証 券 数 ・ 金 額 銘 柄 数 <比 率>	7,073,775 15	6,574,083 11	22,260 —	1,721,405 <39.6%>	

※邦貨換算金額は、期末の時価を日本の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。

※< >内は、純資産総額に対する評価額の比率。

※単位未満は切捨て。ただし、単位未満の場合は小数で記載。

※一印は組入れなし。

※銘柄コードの変更等、管理上の都合により同一銘柄であっても別銘柄として記載されている場合があります。

オーストラリア高配当株式マザーファンド

■ 投資信託財産の構成

(2020年12月7日現在)

項 目	期 末	
	評 価 額	比 率
株 式	千円	%
投 資 証 券	2,513,938	57.6
コ ー ル ・ ロ ー ン 等 、 そ の 他	1,721,405	39.4
投 資 信 託 財 産 総 額	129,842	3.0
	4,365,185	100.0

※単位未満は切捨て。ただし、単位未満の場合は小数で記載。

※期末における外貨建資産(4,292,117千円)の投資信託財産総額(4,365,185千円)に対する比率は98.3%です。

※外貨建資産は、期末の時価を日本の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。なお、期末における邦貨換算レートは、1オーストラリアドル=77.33円です。

■ 資産、負債、元本及び基準価額の状況

(2020年12月7日現在)

項 目	期 末
(A) 資 産	4,399,120,292円
コ ー ル ・ ロ ー ン 等	88,591,291
株 式 (評 価 額)	2,513,938,972
投 資 証 券 (評 価 額)	1,721,405,675
未 収 入 金	67,879,221
未 収 配 当 金	7,305,133
(B) 負 債	57,003,926
未 払 金	33,935,241
未 払 解 約 金	23,068,625
未 払 利 息	60
(C) 純 資 産 総 額 (A - B)	4,342,116,366
元 本	1,874,926,968
次 期 繰 越 損 益 金	2,467,189,398
(D) 受 益 権 総 口 数	1,874,926,968口
1万口当たり基準価額(C/D)	23,159円

※当期における期首元本額2,178,812,525円、期中追加設定元本額92,900,793円、期中一部解約元本額396,786,350円です。

※上記表中の次期繰越損益金がマイナス表示の場合は、当該金額が投資信託財産の計算に関する規則第55条の6第10号に規定する額(元本の欠損)となります。

※期末における元本の内訳は以下の通りです。

オーストラリア・高配当株ファンド(毎月決算型)	1,311,441,384円
オーストラリア・高配当株ファンド(年1回決算型)	38,320,462円
SMAM・オーストラリア高配当株ファンド(適格機関投資家専用)	525,165,122円

※上記表中の受益権総口数および1万口当たり基準価額が、投資信託財産の計算に関する規則第55条の6第7号および第11号に規定する受益権の総数および計算口数当たりの純資産の額となります。

■ お知らせ

<約款変更について>

該当事項はございません。

■ 損益の状況

(自2020年6月6日 至2020年12月7日)

項 目	当 期
(A) 配 当 等 収 益	103,668,583円
受 取 配 当 金	103,703,466
支 払 利 息	△ 34,883
(B) 有 価 証 券 売 買 損 益	462,281,896
売 買 益	615,870,015
売 買 損	△ 153,588,119
(C) 信 託 報 酬 等	△ 835,401
(D) 当 期 損 益 金 (A + B + C)	565,115,078
(E) 前 期 繰 越 損 益 金	2,236,718,176
(F) 追 加 信 託 差 損 益 金	98,399,025
(G) 解 約 差 損 益 金	△ 433,042,881
(H) 計 (D + E + F + G)	2,467,189,398
次 期 繰 越 損 益 金 (H)	2,467,189,398

※有価証券売買損益は期末の評価換えによるものを含みます。

※信託報酬等には、保管費用等を含めて表示しています。

※追加信託差損益金とあるのは、信託の追加設定の際、追加設定をした価額から元本を差し引いた差額分をいいます。

※解約差損益金とあるのは、中途解約の際、元本から解約価額を差し引いた差額分をいいます。